



福南中学校  
学校通信

「福くなん」

# 新校長による学校通信をお届けします 『育つ喜びを共感できる』通信を目指します

平成30年度がスタートして1ヶ月が経ちました。平成29年度末の人事異動で、浅川校長先生の後任として、小野大（おのまさる）が着任しました。前任校は岡山市立御南中学校でした。どうぞよろしくお願い申し上げます。学校通信は校長が次のような方針で作っていきたくと思っています。

- ①生徒自身、保護者の皆様がおもしろいと感じる内容を目指します。
- ②生徒が育つ姿を掲載することで、福南中の教育の心をお伝えすることを目指します。
- ③校長の思いを伝える内容を記事にします。

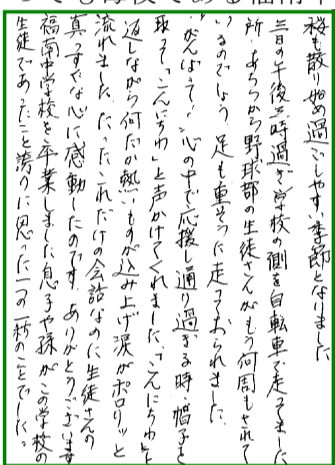
## 始業式 the校長話

皆さんおはようございます。3年生、2年生の皆さん、進級おめでとう。3年生は最後の中学校生活、そして進路選択の1年ですね。2年生は職場体験学習などを通して、初めての社会人の体験をする1年です。皆さんのこれからが充実した1年になることを期待しています。がんばってください。福南中学校の先生はどの先生も、全力で皆さんの応援をしていきます。

さて、私のことを少し紹介したいと思います。実は福南中学校は、「私の母校」です。といっても、みんなのように福南中学校を卒業するわけではありません。32年前、みんなのお父さんやお母さんが中学生だった頃かな、福南中学校ができて8年目の時に、数学の先生として福南中学校にきました。先生として初めて学校というところで働いたのがこの福南中学校でした。大学を出たばかりで、教師として何も身についていなかった

私に、いろいろな場面で先輩の先生方が教えてくれた私にとっては特別な学校なんです。だから、みんなにとってはもちろん母校なるのだけれど、このような意味で、福南中学校は私にとっても、「教師としての母校」なんです。だからほかの学校に転動しても、「福南」という響きは、私の中では特別な思いを持って聞こえていたのです。

さて、みんなにとっても私にとっても母校である福南中学校宛てに、春にみながた休素敵葉届の介しね。



皆さんはどう思いましたか。私は、この野球部の生徒は、こんな葉書が中学校に届くなんて思っていなかったと思っています。走るのに疲れてはいたけれど、彼にとっては当たり前前の挨拶をただけだと思っていたと思うんです。もしかしたらそんなことも思っていなかったかもしれせんし、挨拶をしたことさえ忘れていたかもしれませんね。でも彼の一言はこの方を感動させ、「福南中学校のことを誇りに思う」とまで書かせたのです。たった一つの言葉が、こんなにも人の心を動かしたんですね。素敵だと思いませんか。私も、教頭先生から、校長先生こんな葉書が届いていますと渡されてこの葉書を読んだときにとっても嬉しくなりました。あんまり嬉しかったので、この葉書の表やら裏を何度も読み返してたんですね。そうしたら、だんだんとこの方の伝えたいと思っていることがわかったきたんです。それはね。「こんな素敵な行動ができる心を福南中の誰もが持っている」と伝えてくれようとしているんだなと気がついたのです。

こんなことを当たり前にする雰囲気はみんなの中にあるから、走って苦しい時でも、出てきた一言だったのだと思ってくださっているのわかってきたのです。

そしてこの葉書は、校長先生宛ではなく、福南中学校宛てに書いてくださっています。これは、福南中学校の生徒のみんなや先生方が素晴らしいと伝えようとしてくれているんです。普段はなかなか聞く機会が少ない「誇りに思う」という言葉を頂いたので。こんな素敵な文化がある母校の福南中学校を私はますます大好きになりました。皆さん、是非一緒にさらに素敵な福南中学校を築いていきましょう。これで私のお話を終わります。

お葉書くださった方に心から感謝申し上げます。築港緑町の住民の方から頂いた福南中学校のみんなにとって宝物になる葉書です。現物は校長室に、廊下には葉書を拡大して飾っています。



今年度の福南中学校の教職員です。とても元気で、明るく、心のある教育に粘り強く取り組んでくれています。福南中学校の私の素敵なお僚です。どうぞよろしくお願いいたします。

1年		2年		3年	
主任	高木 理行 (数)	主任	尾川登太郎 (数)	主任	岡田 節子 (国)
A	谷 知倫 (技)	A	金見 春花 (家)	A	今川 新二 (社)
B	岡本 享子 (英)	B	黒崎 真 (英)	B	池田 里奈 (音)
C	山下 侑記 (理)	C	岩崎 愛 (英)	C	曾我部典子 (英)
D	清原 恵子 (美)	D	池田 実咲 (理)	D	廣川 武士 (数)
学担	谷口由里子 (国)	学担	金田 益美 (国)	学担	土居 和幸 (数)
		〃	宮崎由幹徳 (社)	〃	丸市 榛名 (理)

全学年 (特別支援)	
G	松森 寛 (理)
H	大西真由美 (社)

学 校 全 体			
校長	小野 大	学校司書	鴛田絵里子
教頭	中島 盛司	用務技師	定光 康明
教務主任	日下部克之	購買・PTA事務	沼田実奈子
生徒指導主事	柏 浩一	支援員	矢部 雅美
拠点校指導教員	奥田 雅代	スクールカウンセラー	花房 香
養護教諭	片島ゆみこ	支援員	内山 素子
事務主事	末藤小央里	支援員	佐古 律子
栄養技師	小野 綾子	学校業務アシスト	杉山 詠香
教科指導	五十嵐 武	A L T	ネグァーレス・ジャン・ケルス
〃	浅野 圭子		

## 入学式 the校長お祝いのことば

# 新入生138名、2年生139名、3年生145名、総勢422名で新学期がスタート!

の抜粋

新入生の皆さんは、今日から、福南中学校の一員として、新しい一歩を踏み出すことになりました。多くの期待といかばかりかの不安を胸に登校されたことでしょうか。今日出会った新入生138名は、同級生としてここに集い、そして、中学生という人間性を形成する上でとても大切な時間を、ここでもともに過ごします。ともに笑い、ともに支え、ともに学ぶ三年間。互いに励まし合い、背中を押しあえる三年間であってほしいと願っています。

さて、皆さん、学校は何のためにあるのでしょうか。考えてみれば何千年も前から学校は存在してきました。なぜ学校というひとつの「場」に集って学んできたのでしょうか。その時代に必要な知識を伝達するだけの「場」だったのでしょうか。そして私たちの学校もそうでしょうか。

新入生の皆さんには、少し難しい問いかけかもしれませんが。私は、学校という場は「人づくりの場」、だと考えています。人づくりとは「人とつながる力をつけること」です。自分とは違った考えや個性を持った人を受け入れ、その人と協働して、言い換えれば力を合わせて学習したり、活動できる

ことだと考えています。自分とは違った考えや個性の人とは、ぶつかることもあるかもしれませんが。でも、その人を切り捨ててしまうのではなく、どうすればその人の考えや個性を生かせるか、どういう言葉で伝えれば協働できるかを考えて行動できることです。人のつながりを大切にすることで、周りの人の可能性を広げ、そのことが自分の可能性を広げることにつながります。一人ではできない成長をすることができるのです。福南中での授業やいろいろな行事を通して、仲間とのつながりを大切に、あなたが備えている可能性をさらに広げ、深めていく時間にしてほしいと思っています。

今日、私から皆さんに伝えたことは、少し難しいことかもしれませんが。しかし、これからずっとあなたの方の心の片隅に置いておいてほしいと思っています。これからいろいろなことに挑戦する皆さんを、福南中の先生たちは全力で応援をします。しっかりと向き合い、つながり続けていきたいと思っています。



クラス発表



新入生宣誓



吹奏楽部の演奏で始まった平成30年度の入学式